

研鑽会「木材産業における ESG」開設について

1. 目的

ESG 情報を重視する機関投資家や、これらを経営戦略に取り込む企業が急速に増えています。木材産業は、木材利用の地球環境貢献（E）や地域経済効果（S）などにおいて大きな潜在力があると考えられますが、これらについて ESG の観点から事業ポートフォリオの整理が十分ではなく、ESG 情報の発信も少ないため、社会から適切に評価されているとは言えません。

そこで本研究会では、ESG の観点から木材産業を再評価することで木材産業に対する社会、投資家、労働力市場の注目度を高め、木材産業および関連企業の価値を向上させ、木材利用の促進を図ることを目的に、協働プログラムとして研鑽会「木材産業における ESG」を企画しました。

是非、ご参画戴けますよう、案内申し上げます。協働によって研鑽いたしましょう。

通常の月例研究会にご参加されていない CSR 担当者へも御案内戴ければ幸いです。

なお、フェイズ I（2018 年度上半期）の目標は以下のように考えています。

- ✓ ESG および SDGs の基本的な内容を理解する。
- ✓ 各企業の ESG 活動、環境貢献、社会貢献活動の現状を把握する。
- ✓ 木材産業における ESG インデックスの可能性について検討する。



2. 運営組織

木材利用システム研究会および木材利用システム学研究室の共催とする予定です。

前者は研鑽会の事務全般を担当し、後者はアカデミックな立場から助言を行います。

3. 受講対象と費用

受講対象：木材産業関連の企業に所属する社員

費用：マルチクライアント方式とし、フェイズ I については、キックオフミーティングにて相談させて戴きますが、会員各社 1 名あたり 3～5 万円を想定しています。

4. フェイズ I の日程案（詳細については随時木材利用システム研究会 HP 上でお知らせします）

日程	講義	ゼミ
第 1 回（4/23 15:00-19:00）	キックオフミーティング（懇談会）	オリエンテーション
第 2 回（5 月下旬）	SDGs および ESG 情報の基礎講座 金融機関から見た ESG 投資の可能性 事業会社から見た ESG 投資の可能性	各社 ESG 活動実績 ESG 指標の検討 成果報告準備
第 3 回（6 月下旬）		
第 4 回（7 月下旬）		
第 5 回（8 月下旬）		
最 終（9/26）	研究報告会にて成果報告	

5 申込方法

参加をご検討頂ける場合には、木材利用システム研究会事務局宛に一報願います。

4 月 13 日（金）を申込べ切といたします。

6 本件問い合わせ先

木材利用システム研究会事務局（東京大学木材利用システム学研究室内）

担当：長坂（後藤）nagasaka@anesc.u-tokyo.ac.jp 電話 03-5841-7506